

リゾーム型研究人材育成プログラム

説明会（学生用）

事業統括：重松孝昌（大阪市立大学）
河北哲郎（大阪府立大学）



事業統括により選抜された優秀な博士後期課程学生は、所属元の変更などのポータビリティを担保した上で**自身の自由で挑戦的・融合的な研究に専念**し、あわせて当該博士後期課程学生に対しては、**生活費相当額及び研究費の支給**や、**キャリア開発・育成コンテンツ**（国際性の涵養、学際性の涵養、キャリア開発、トランスファラブルスキルの習得、インターンシップ等）をはじめとする様々な支援が提供されます。

次世代研究者挑戦的研究プログラムは、
博士後期課程学生による挑戦的・融合的な研究を支援し、
優秀な博士人材が様々なキャリアで活躍できるように
研究力向上や研究者能力開発を促す事業です。



『リゾーム型研究人材育成プログラム』の背景

- ・大阪市立大学・大阪府立大学の『伝統の発展的継承』

- ・さまざまな課題を抱える都市・大阪

- ・地域・社会の課題の解決を通じたグローバル社会への貢献
 - ・人間の行動様式を踏まえたうえでの技術イノベーションの展開・活用
 - ・都市の社会的・文化的資源を開拓・再発見
 - ・新たな都市の魅力の向上（ブランディング）
- ・閉塞感の強い日本社会を新たなステージに誘う突破力の必要性

- ・大阪公立大学（2022年4月開学予定）

- ・ **地域に根ざした公立の総合大学ならではの社会貢献を志向**

『リゾーム型研究人材育成プログラム』の理念と目的

基本理念：「**まちをつくることは、人をつくること**」

【課 題】 新たな知を創生するとともに総合知を養成し、地域・社会の課題解決を通してグローバル社会を牽引するあらゆる研究課題を対象とする

- ・ 社会課題の解決に資する研究
- ・ 先導的複合研究領域を創成する研究
- ・ 未来社会の創出に資する研究

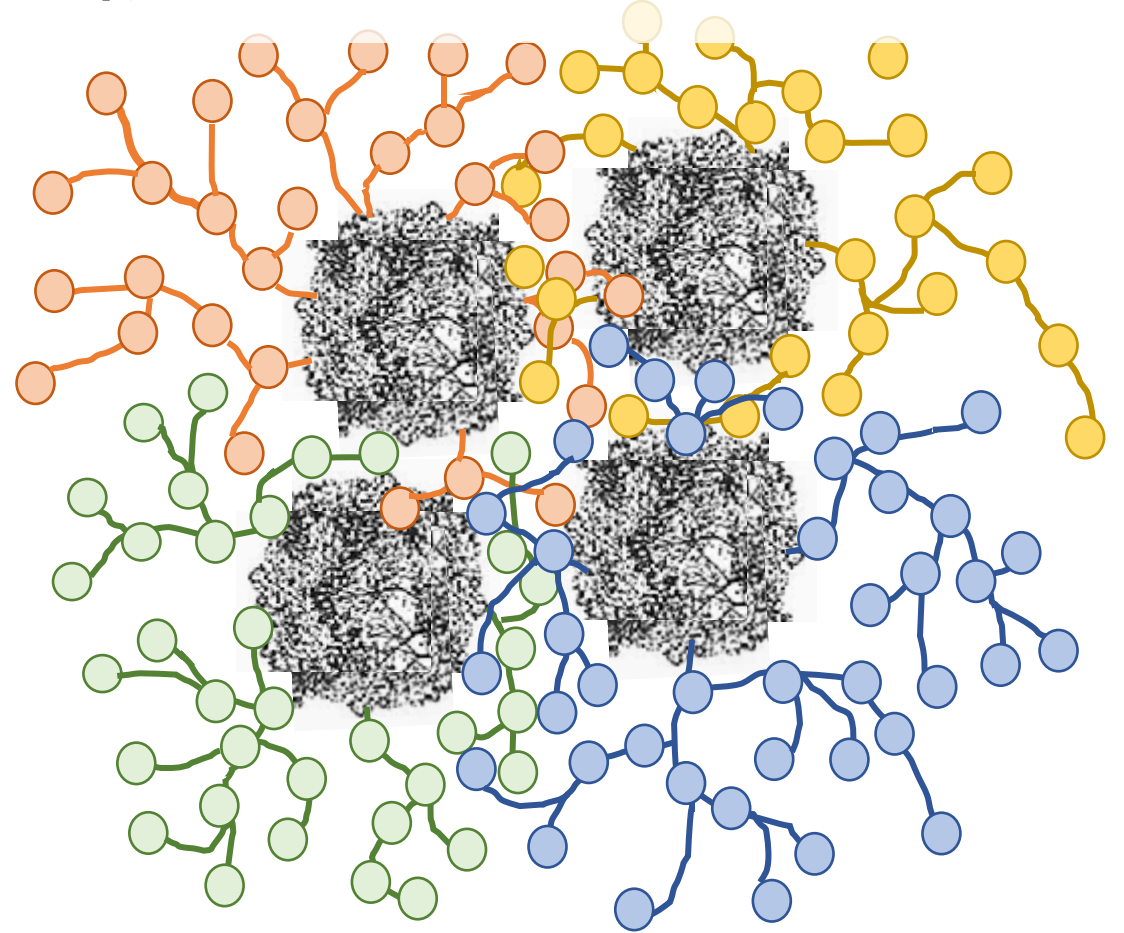
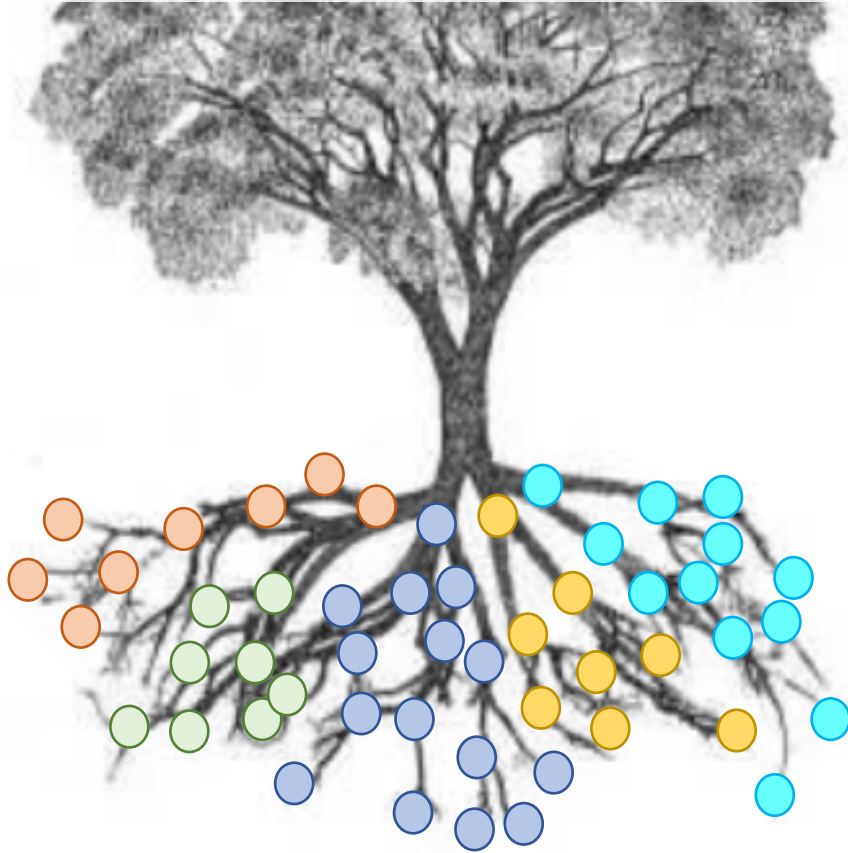
これらの総合的課題に包含される
あらゆる研究を対象

【目指すべきビジョン】

複合的な専門知を活用し、先導的な研究の創生と未来社会の創造に貢献する意志と研究ビジョンを持つ学生の育成

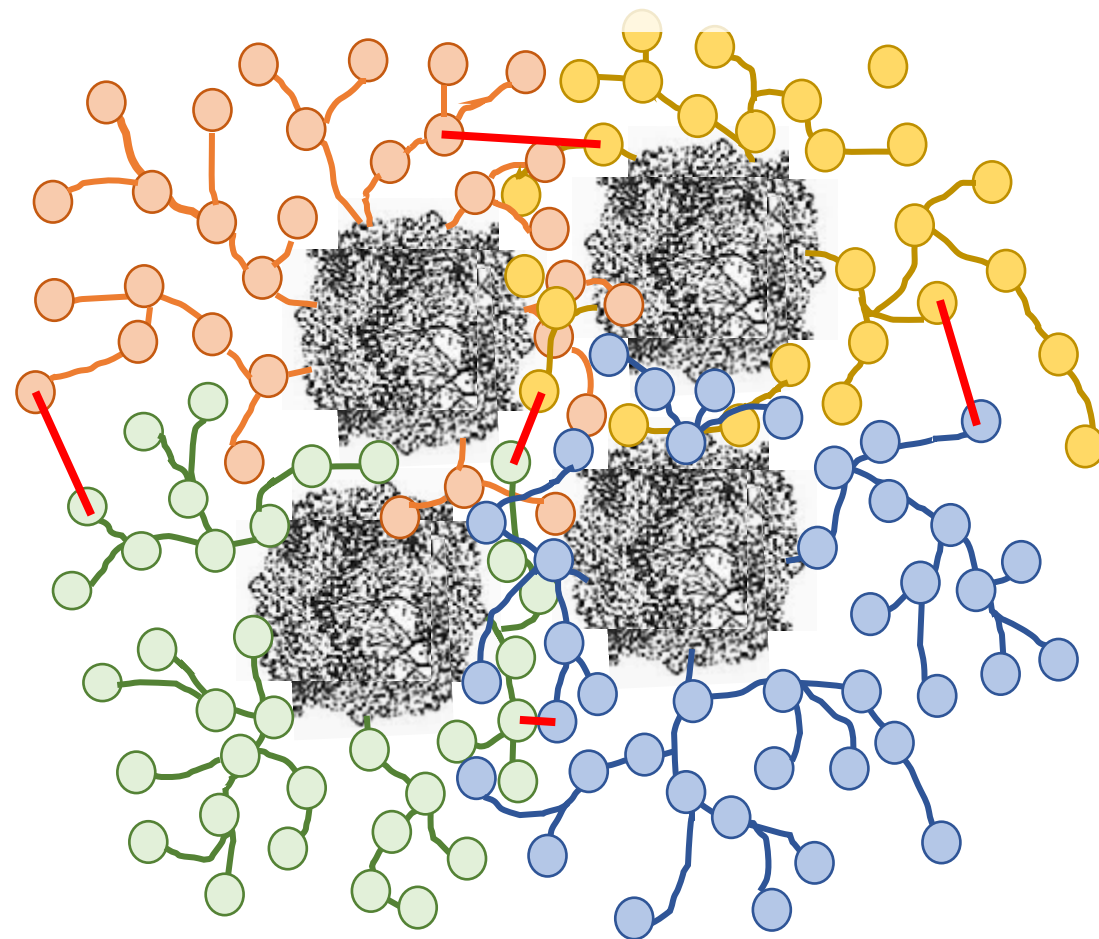
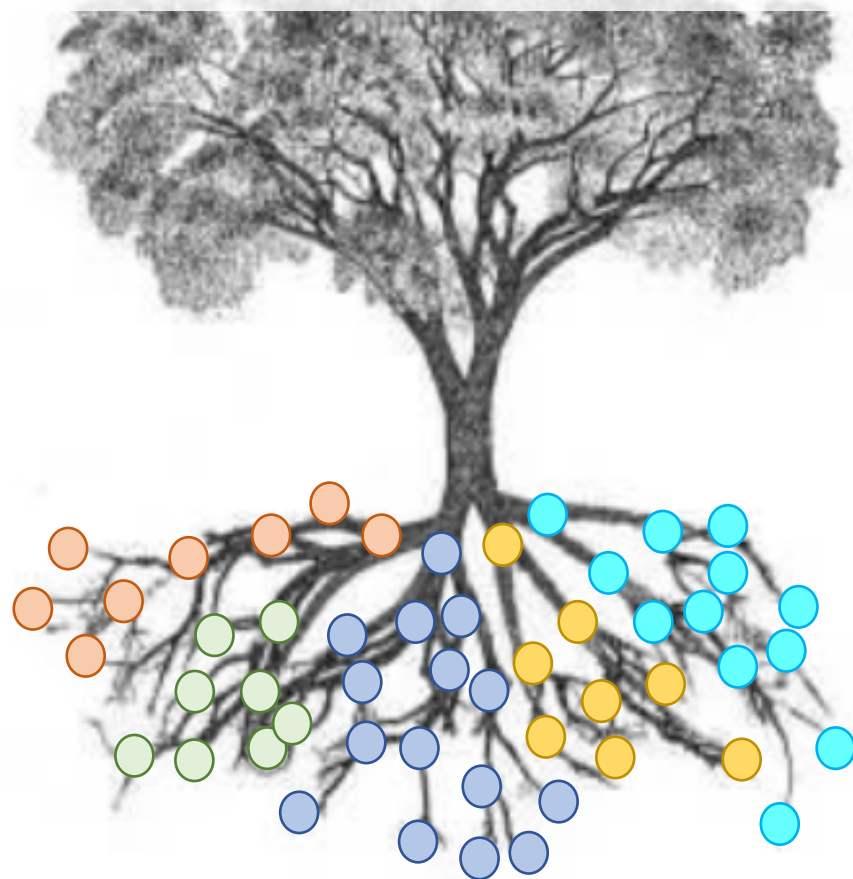
リゾーム

相互に関係のない異質なものが、階層的な上下関係ではなく、横断的な横の関係で結びつく様を表す概念



リゾーム

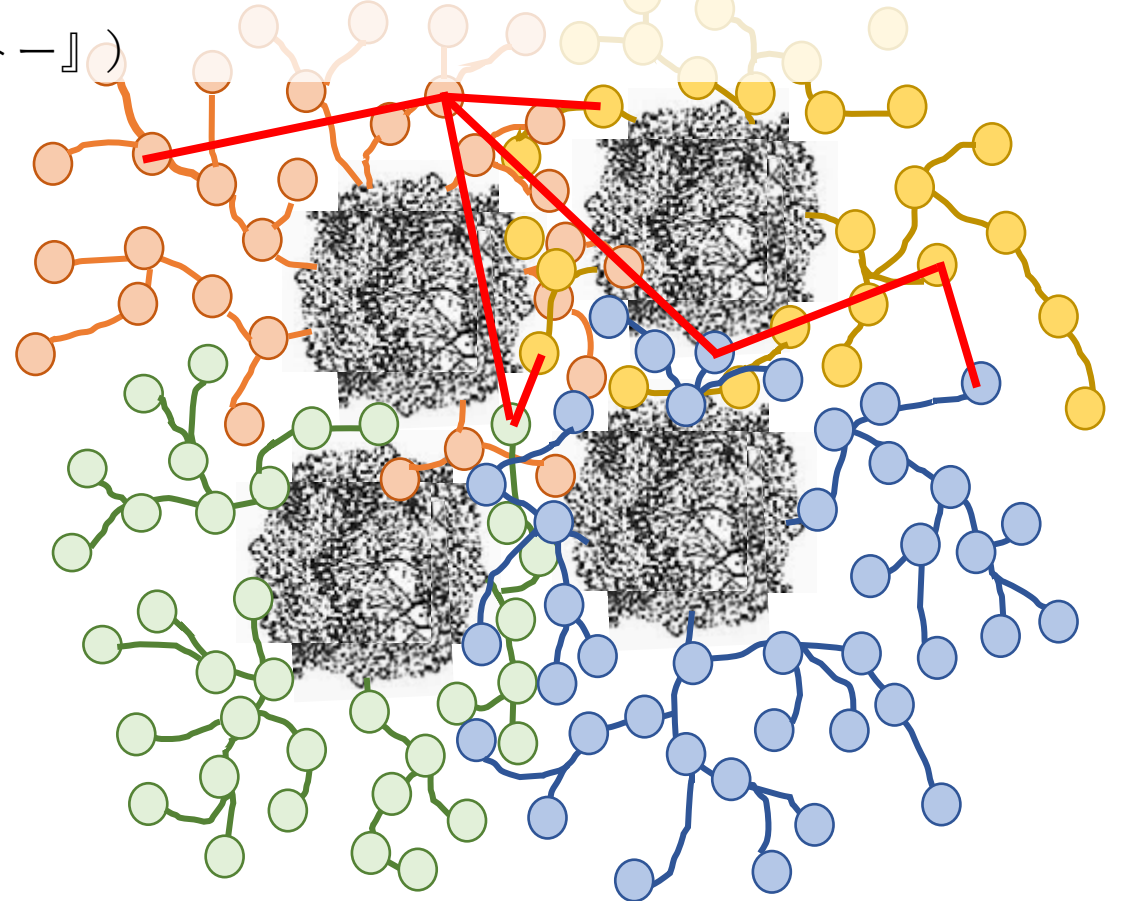
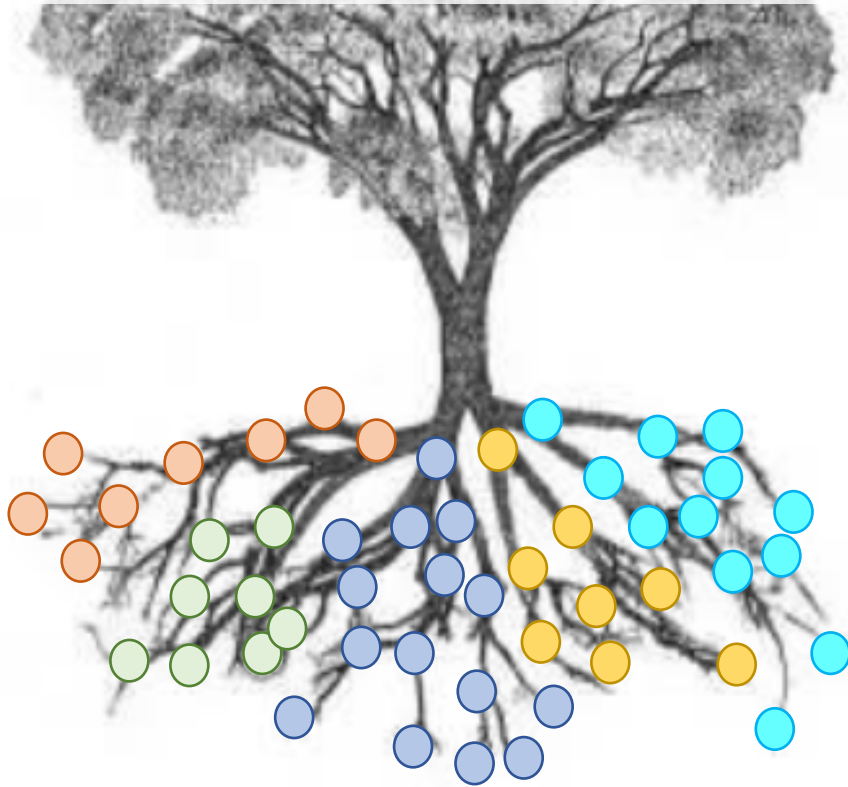
「リゾームには、構造、樹木、根などにおいて見出されるような点ないし位置といったものはない。線があるだけなのだ」 (ジル・ドゥルーズ, フェリックス・ガタリ 『千のプラトー』)



リゾーム

「リゾーム状になるということは、根のように見える茎や繊維を産み出すこと、いやそれよりも幹に侵入してそれらの根と連結され、それらを奇妙で新たな用途に役立てることも辞さない茎や繊維を産み出すということである」

(ジル・ドゥルーズ, フェリックス・ガタリ 『千のプラトー』)



支援学生に求める素養

学生に求める素養

- 社会における自らの研究の位置づけの把握
- 強い知的好奇心・欲求と多様な視野
- 国際的視野の養成に対する意欲
- 将来社会に対する自らの貢献

幅広の課題設定

- 社会課題の解決に資する研究
- 先導的研究領域を創成する研究
- 未来社会の創出に資する研究

これらに包含されるあらゆる研究を対象とし、既存の研究科の枠組みのにとらわれ
ることなく専門知の深化と有機的結合に積極的に取り組む者を支援する

応募要件

- 2021年4月1日に、大阪市立大学・大阪府立大学のいずれかの大学院の後期博士課程・博士後期課程・博士課程に在籍している者
 - 学年は問わないが、標準修業年限を越えていない者
 - 長期履修制度を利用する者、あるいは、している者は、個別に相談に応じる
- 2021年10月1日に、大阪市立大学・大阪府立大学のいずれかの大学院の後期博士課程・博士後期課程・博士課程に入学予定の者

ただし、以下の者は除く

- 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員
- 国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生
- 本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- 所属する大学や企業等から生活費相当額として十分な水準で給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生

「生活費相当額として十分な水準」は、240万円/年とする。

※ 文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」の対象学生は、本プログラムへの申請は可能ですが、本プログラムの支援学生として採択された場合には、フェロシップ創設事業の支援は辞退していただきます。

募集人員

(2023年10月入学者の標準就学年限まで支援予定)

- 総数：最大70名

対象者は下記のとおり。

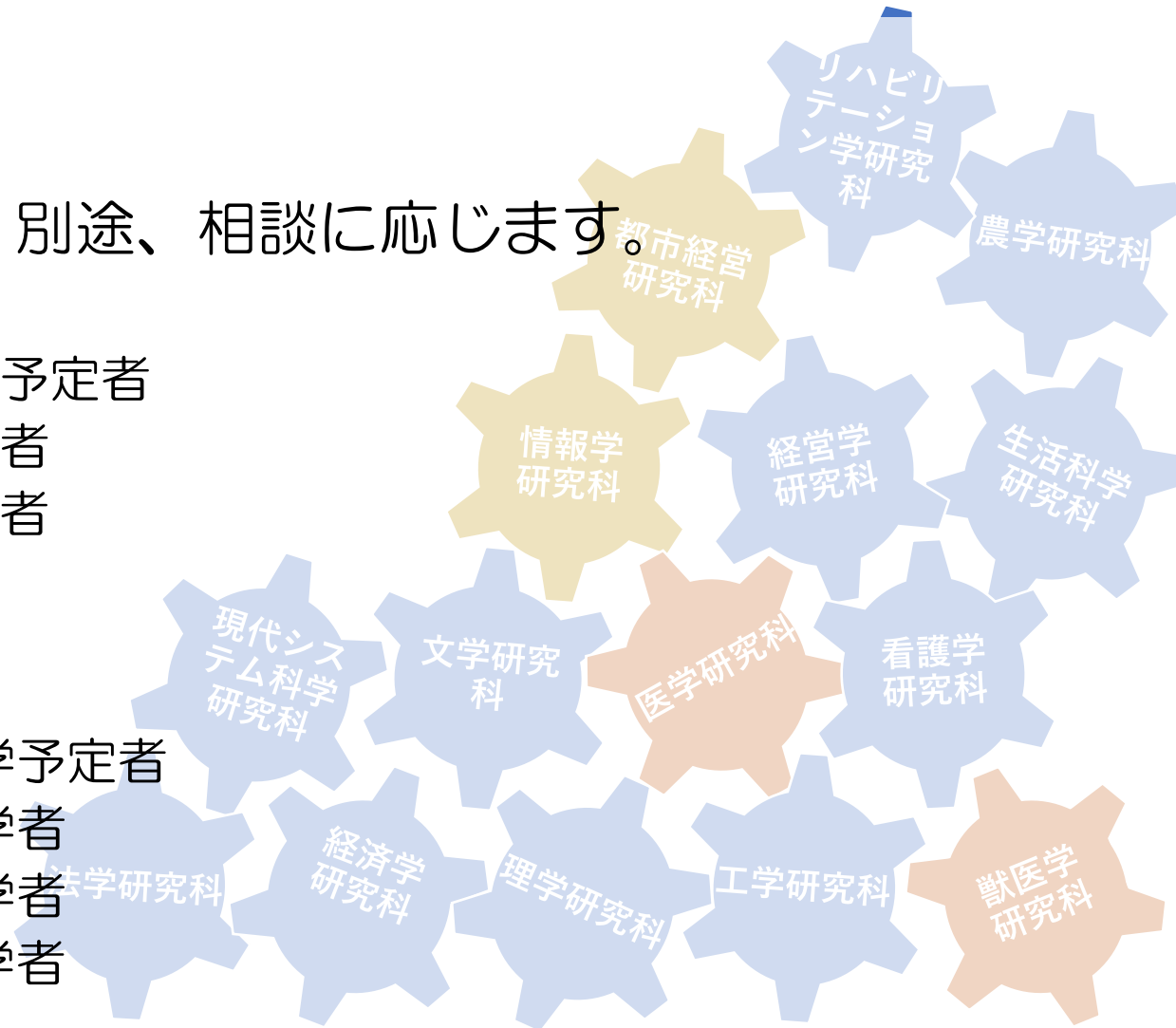
長期履修制度を活用している方は、別途、相談に応じます。

- 3年制大学院

- | | | |
|---------|-------|----------|
| • 2021年 | 4月入学者 | 10月入学予定者 |
| • 2020年 | 4月入学者 | 10月入学者 |
| • 2019年 | 4月入学者 | 10月入学者 |

- 4年制大学院

- | | | |
|---------|-------|----------|
| • 2021年 | 4月入学者 | 10月入学予定者 |
| • 2020年 | 4月入学者 | 10月入学者 |
| • 2019年 | 4月入学者 | 10月入学者 |
| • 2018年 | 4月入学者 | 10月入学者 |



選抜方式および選抜スケジュール

小論文の内容(100点)とそれに基づく口述試験(100点)で判定

- ・ 9月7日 説明会
- ・ 9月8～14日 応募期間
- ・ 9月16日 口述試験日時の通知
- ・ 9月21～28日 口述試験
- ・ 9月30日 選抜結果発表

・ 評価の視点

- ・ 自身の研究内容を専門外の人にわかり易く説明できる
- ・ 自身の研究が現在社会の課題解決や先導的研究領域の創生，未来社会の創出にどのように関わるのか理解している
- ・ 自身の研究に、どのような複合知が必要であるのかを認識するとともに、それを習得しようとする強い意欲がある
- ・ トランスファラブルスキルの重要性を理解し、身に付けようとする意欲がある
- ・ 修了後のキャリアパスを意識し、社会でどのように活躍・貢献したいかを考えている

評価方法

評価項目						
	0点	1点	2点	3点	4点	5点
(1) 自身の研究内容を専門外の人にわかり易く説明できる	自身の専門領域の知識が不十分である。	自身の専門領域の知識はあるが専門外の人を意識した説明ができない。	自身の専門領域の知識があり、専門外の人を意識しているが、十分に理解できる説明になっていない。	自身の専門領域の知識が十分にあり、自身の研究概要を専門外の人にも一定の理解が得られるよう説明ができる。	専門領域の知識が十分にあり、自らの取り組みのオリジナリティとその成果および有用性を専門外の人に理解できるように説明できる。	自身の研究内容の背景、課題、取り組み内容、社会への貢献などを総合的に専門外の人にも理解できるように説明できる。
(2) 自身の研究が現在社会の課題解決や先導的研究領域の創生、未来社会の創出にどのように関わるのか理解している	自身の研究の重要性が理解できていない。	自身の研究の重要性を理解する心構えはある。	自身の研究の重要性を理解し、現在社会の課題解決・先導的研究領域の創生・未来社会の創出との関係を意識している。	自身の研究が、現在社会の課題解決・先導的研究領域の創生・未来社会の創出に如何に関わるのかについて、説明できる。	自身の研究が、現在社会の課題解決・先導的研究領域の創生・未来社会の創出に如何に関わるのかについて、筋道をたてて、論理的に説明できる。	自身の研究が、現在社会の課題解決・先導的研究領域の創生・未来社会の創出に如何に関わるのかについて、論理的に説明でき、その具体的解決方法と効果まで説明できる。
(3) 自身の研究に、どのような複合知が必要であるのかを認識するとともに、それを習得しようとする強い意欲がある	複合知の必要性が理解できていない。	複合知の必要性を理解する心構えはある。	複合知の必要性を理解し、自身の研究におけるそれぞれの役割を意識している。	自身の研究において、現在社会の課題解決・先導的研究領域の創生・未来社会の創出に対する複合知の必要性について説明できる。	自身の研究において、現在社会の課題解決・先導的研究領域の創生・未来社会の創出に対する複合知の必要性について、論理的に説明できる。	自身の研究において、現在社会の課題解決・先導的研究領域の創生・未来社会の創出に対する複合知の必要性とともに、得ようとする研究成果との関係を伝い敵に説明できる。
(4) トランスファラブルスキルの重要性を理解し、身に付けようとする意欲がある	トランスファラブルスキルを知らない。	トランスファラブルスキルを聞いたことはあるが、説明できない。	トランスファラブルスキルを理解し、その重要性は認識している	トランスファラブルスキルの重要性を認識し、特定のスキルに対する学びへの意欲がうかがえる。	トランスファラブルスキルの重要性を認識し、特定のスキルを学ぶ具体的な計画を考えている。	トランスファラブルスキルの重要性を認識し、具体的な目的意識を持って計画を立て、特定のスキルを学ぶ活動が来ている。
(5) 修了後のキャリアパスを意識し、社会でどのように活躍・貢献したいかを考えている	キャリアパスや将来展望を考えたことがない。	キャリアパスについて考えたことがあるが、具体的な考えまでには至っていない。	修了後のキャリアパスを意識しており、社会でどのように活躍・貢献したいか、考える準備ができている。	修了後のキャリアパスを意識しており、社会でどのように活躍・貢献したいか、その具体的姿を説明できる。	修了後のキャリアパスを意識しており、社会でどのように活躍・貢献したいか、具体的姿と自身の考えを説明できる。	修了後のキャリアパスを意識しており、社会での具体的姿を目指し具体的な目標を立てて活動できている。

申請にあたって

- 申請先
 - <https://forms.office.com/r/KKr2rBzVrH>
- 写真
 - 肩を含む顔写真（電子ファイル）をご用意ください
 - ファイル名を「IP番号_氏名. 拡張子」として提出
 - 拡張子は、ファイル形式（jpg、bmp、png、tiffのいずれか）にあわせてください。
- 小論文
 - 個人属性・研究概要情報
 - 氏名・所属(研究科・専攻)・指導教員（必ず、指導教員と事前に相談して申請してください）
 - 研究題目・研究キーワード
 - 指導を希望する副研究科等および教員
 - 必須ではありません。採択後、指導教員・メンター等と相談しながら決めることも可能です
 - 小論文
 - ファイル名を「IP番号_氏名. pdf」として提出

申請にあたって

- 小論文

- 小論文

- 様式1を用いて作成してください
 - 記載内容

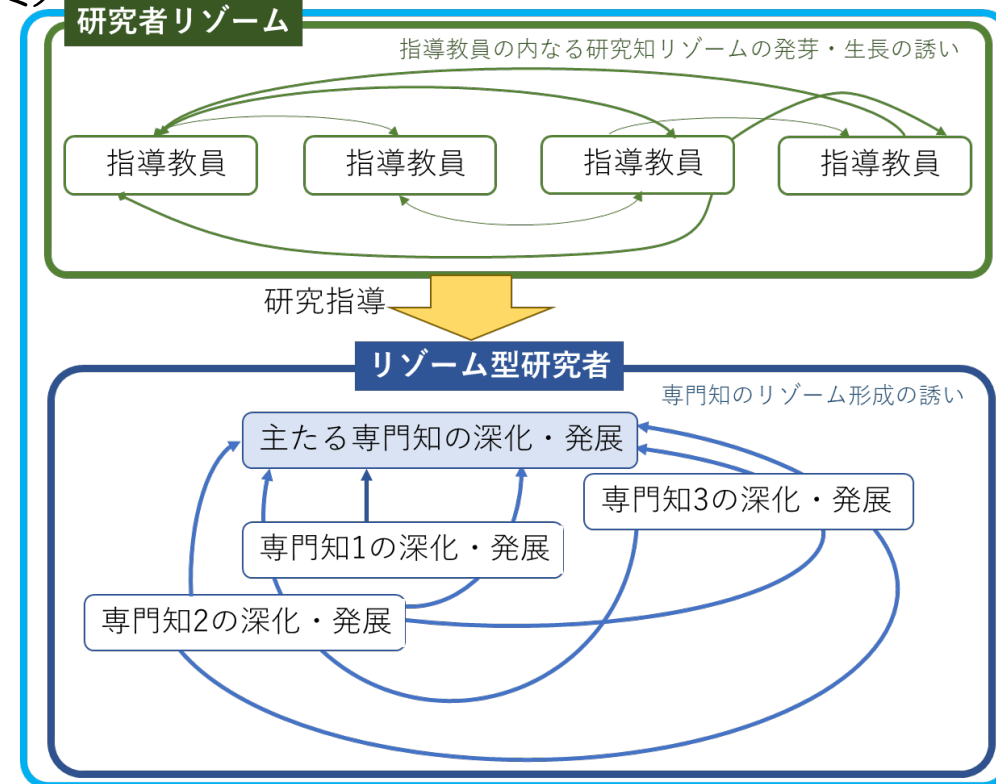
- 自身の研究内容を専門外の人に向けてわかりやすく説明するとともに、このプログラムで得られる研究成果が、(1)社会課題の解決、(2)先導的研究領域の創生、(3)未来の社会像の創出のいずれか、もしくは複数とどのように結びつくと考えているのかを記述すること
 - 上記達成のために、どのような複合知が必要と考え、それをどのように習得しようとしているか記述すること
 - 本事業において、自身がどのようなトランスファラブルスキル※を身に着けようと考えているか、また、その理由と方法について記述すること

※本事業におけるトランスファラブルスキル：イノベーション人材に必要とされる、独創性や自由な発想、チャレンジ精神、研究ニーズ発掘力、研究マネジメント能力、データ分析力、プレゼンテーション力および人を惹きつけるリーダーシップ等の広く転用・応用可能なスキル

- 博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考えと、社会でどのように活躍・貢献したいかについて記述すること

支援学生の責務

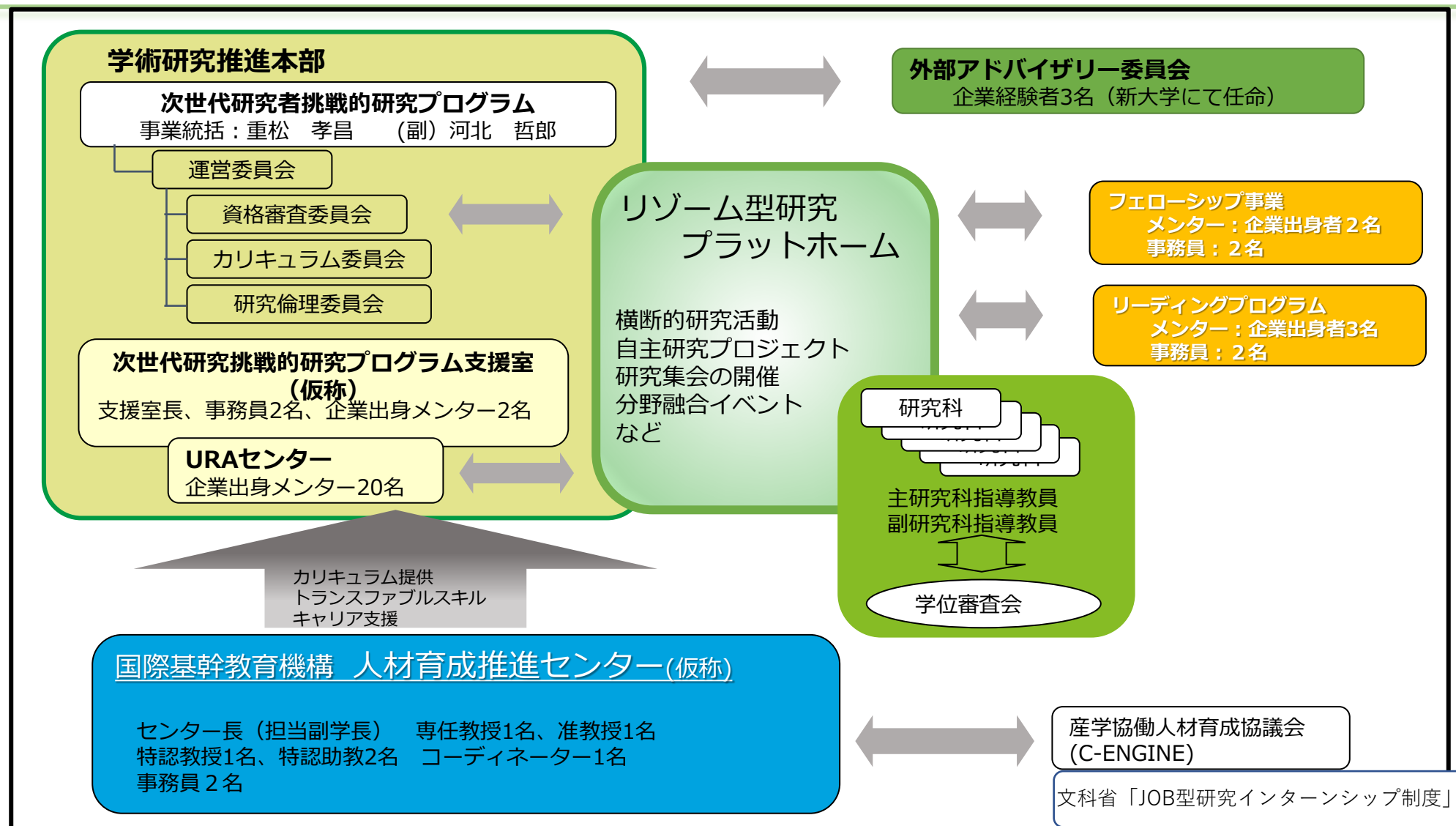
- 研究進捗状況報告会（半年ごと）にて、進捗状況の報告
 - 資格審査を兼ねる
 - リゾーム推進教員（主研究科教員、副研究科教員）
- 国内外留学（3～6ヶ月程度：必須）
 - キャリア・ネットワーク形成
- 長期インターンシップ（3ヶ月程度：推奨）
 - キャリア・ネットワーク形成
- 研究論文発表・国際会議への参加
 - 研究促進、キャリア・ネットワーク形成
- 大学院共通教育科目の履修
 - キャリア形成
- 自主プロジェクトの設立・運営
 - ネットワーク形成
- 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員に申請



支援の内容

- ・ リゾーム研究奨励費：年間220万円
(標準修業年限を越えない範囲)
- ・ 国内外留学支援費：最大150万円
- ・ 国際学会・海外サマースクール渡航費・参加費等支援：申請
- ・ 研究論文投稿支援費（翻訳費用を含む）：申請
- ・ 長期インターンシップ支援
- ・ 自主研究プロジェクトの開催支援：申請

プログラムの運営組織



ご応募、お待ちしております！